

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 高知県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	あき総合病院	2
-	幡多けんみん病院	3
土佐市	土佐市民病院	4
四万十市	市民病院	5
本山町	嶺北中央病院	6
いの町	いの町立国民健康保険仁淀病院	7
佐川町	高北国保病院	8
梶原町	国保梶原病院	9
大月町	国保大月病院	10
高知県・高知市病院企業団	高知医療センター	11

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	高知県
	市町村・組合名	
	病院名	あき総合病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	175	89.7	91.2	92.0
療養	-	-	-	-
結核	5	6.3	12.5	21.2
精神	90	88.9	87.6	87.0
感染症	-	-	-	-
計	270	87.9	88.6	89.1
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	17.7	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	728,276	
決算規模(千円)	449,350,695	
標準財政規模(千円)	262,872,326	
財政力指数	0.27201	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	189.9

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,771 m ²	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪
診療科数	23	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.3
修正医業収益(千円)	4,295,506

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,110,546			
1 経常収益	6,094,695			
(1) 医業収益	4,464,223			
入院収益	2,986,407			
外来収益	1,227,590			
診療収入計	4,213,997			
その他医業収益	250,226			
(うち他会計負担金)	168,717			
(2) 医業外収益	1,630,472			
(うち国・都道府県補助金)	17,116			
(うち他会計補助・負担金)	1,255,072			
(うち長期前受金戻入)	321,718			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,851			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,098,665			
2 経常費用	6,066,491			
(1) 医業費用	5,554,714			
職員給与費	3,111,870	69.7	55.7	59.8
材料費	761,629	17.1	24.7	19.0
(うち薬品費)	391,540	8.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	370,061	8.3	11.0	9.2
減価償却費	471,945	10.6	9.0	9.9
経費	1,177,194	26.4	23.3	27.7
(うち委託料)	757,542	17.0	11.5	12.4
研究研修費	27,263			
資産減耗費	4,813			
(2) 医業外費用	511,777			
(うち支払利息)	98,674	2.2	1.4	1.5
(3) 特別損失	32,174			
損益				
経常損益	28,204			
純損益	11,881			
累積欠損金	8,462,319			
経常収支比率	100.5		97.7	96.3
医業収支比率	80.4		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	23.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	31.9		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	23.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	77.0		85.7	83.5

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,492,796
1 固定資産	18,265,035
(1) 有形固定資産	17,587,085
(2) 無形固定資産	10,809
(3) 投資その他の資産	667,141
2 流動資産	5,227,761
(1) 現金及び預金	3,268,695
(2) 未収金及び未収収益	1,787,400
(3) 貸倒引当金()	2,090
(4) 貯蔵品	173,756
3 繰延資産	-
負債合計	25,766,644
1 固定負債	18,812,376
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,596,706
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	4,159,433
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,056,237
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,220,828
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,549,087
(2) その他の企業債	67,825
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	470,203
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	978,609
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,733,440
(1) 長期前受金	13,598,641
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,865,201
資本合計	-2,273,848
1 資本金	9,073,996
2 剰余金	-11,347,844
(1) 資本金剰余金	1,126,686
(2) 利益剰余金	-12,474,530
負債・資本合計	23,492,796
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,273,848
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,375,258	1,423,789
資本勘定繰入	159,312	182,933
計	1,534,570	1,606,722

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	111.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	高知県
				市町村・組合名	
				病院名	幡多けんみん病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,023 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
診療科数	19	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	324	68.8	65.6	70.9
療養	-	-	-	-
結核	28	2.0	2.0	1.5
精神	-	-	-	-
感染症	3	-	-	-
計	355	63.0	60.0	64.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	13.0	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	728,276	
決算規模(千円)	449,350,695	
標準財政規模(千円)	262,872,326	
財政力指数	0.27201	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	189.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.4
修正医業収益(千円)	6,540,764

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,469,921			
1 経常収益	8,437,037			
(1) 医業収益	6,705,145			
入院収益	4,606,116			
外来収益	1,753,869			
診療収入計	6,359,985			
その他医業収益	345,160			
(うち他会計負担金)	164,381			
(2) 医業外収益	1,731,892			
(うち国・都道府県補助金)	25,849			
(うち他会計補助・負担金)	1,219,327			
(うち長期前受金戻入)	469,403			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	32,884			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,580,871			
2 経常費用	8,537,275			
(1) 医業費用	7,843,329			
職員給与費	4,014,807	59.9	55.7	57.0
材料費	1,504,959	22.4	24.7	24.5
(うち薬品費)	790,657	11.8	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	714,119	10.7	11.0	11.3
減価償却費	698,825	10.4	9.0	9.3
経費	1,580,074	23.6	23.3	22.1
(うち委託料)	949,314	14.2	11.5	11.1
研究研修費	31,827			
資産減耗費	12,837			
(2) 医業外費用	693,946			
(うち支払利息)	146,071	2.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	43,596			
損益				
経常損益	-100,238			
純損益	-110,950			
累積欠損金	4,012,211			
経常収支比率	98.8		97.7	96.4
医業収支比率	85.5		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	16.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	20.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	16.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	82.6		85.7	85.3

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,492,796
1 固定資産	18,265,035
(1) 有形固定資産	17,587,085
(2) 無形固定資産	10,809
(3) 投資その他の資産	667,141
2 流動資産	5,227,761
(1) 現金及び預金	3,268,695
(2) 未収金及び未収収益	1,787,400
(3) 貸倒引当金()	2,090
(4) 貯蔵品	173,756
3 繰延資産	-
負債合計	25,766,644
1 固定負債	18,812,376
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,596,706
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	4,159,433
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,056,237
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,220,828
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,549,087
(2) その他の企業債	67,825
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	470,203
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	978,609
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,733,440
(1) 長期前受金	13,598,641
(2) 長期前受金収益化累計額()	9,865,201
資本合計	-2,273,848
1 資本金	9,073,996
2 剰余金	-11,347,844
(1) 資本金剰余金	1,126,686
(2) 利益剰余金	-12,474,530
負債・資本合計	23,492,796
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,273,848
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,322,515	1,383,708
資本勘定繰入	709,226	917,998
計	2,031,741	2,301,706

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	111.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	高知県
	市町村・組合名	土佐市
	病院名	土佐市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	13,146 m ²	指定病院の状況	救臨 災
診療科数	25	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	150	87.1	84.5	86.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	87.1	84.5	86.8
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	18.6	17.7

設立団体の状況		
人口(人)	27,038	
決算規模(千円)	17,880,845	
標準財政規模(千円)	7,448,569	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	94.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	95.8
修正医業収益(千円)	3,280,963

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,582,185			
1 経常収益	3,582,185			
(1) 医業収益	3,383,957			
入院収益	1,947,242			
外来収益	1,224,873			
診療収入計	3,172,115			
その他医業収益	211,842			
(うち他会計負担金)	102,994			
(2) 医業外収益	198,228			
(うち国・都道府県補助金)	16,870			
(うち他会計補助・負担金)	34,079			
(うち長期前受金戻入)	129,032			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,500,372			
2 経常費用	3,499,960			
(1) 医業費用	3,425,422			
職員給与費	1,949,605	57.6	55.7	61.3
材料費	447,570	13.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	212,818	6.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	234,752	6.9	11.0	8.2
減価償却費	273,461	8.1	9.0	10.2
経費	739,543	21.9	23.3	30.5
(うち委託料)	234,274	6.9	11.5	13.0
研究研修費	7,963			
資産減耗費	7,280			
(2) 医業外費用	74,538			
(うち支払利息)	53,926	1.6	1.4	1.6
(3) 特別損失	412			
損益				
経常損益	82,225			
純損益	81,813			
累積欠損金	464,901			
経常収支比率	102.3		97.7	96.5
医業収支比率	98.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	3.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	4.1		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	3.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	98.4		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,779,093
1 固定資産	3,933,411
(1) 有形固定資産	3,932,750
(2) 無形固定資産	661
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,845,682
(1) 現金及び預金	2,294,013
(2) 未収金及び未収収益	527,858
(3) 貸倒引当金()	553
(4) 貯蔵品	23,337
3 繰延資産	-
負債合計	4,269,367
1 固定負債	3,650,118
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,697,786
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	952,332
(7) リース債務	-
2 流動負債	609,172
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	337,718
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	117,887
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	152,225
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	10,077
(1) 長期前受金	680,631
(2) 長期前受金収益化累計額()	670,554
資本合計	2,509,726
1 資本金	2,970,723
2 剰余金	-460,997
(1) 資本剰余金	3,904
(2) 利益剰余金	-464,901
負債・資本合計	6,779,093
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	137,073	137,073
資本勘定繰入	127,251	127,251
計	264,324	264,324

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	高知県
				市町村・組合名	四万十市
				病院名	市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,392 m ²	指定病院の状況	輪		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	99	61.1	68.3	69.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	61.1	68.3	69.3
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	21.9	21.9

設立団体の状況		
人口(人)	34,313	
決算規模(千円)	21,283,294	
標準財政規模(千円)	11,749,137	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	113.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.7
修正医業収益(千円)	1,436,077

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,625,857			
1 経常収益	1,625,857			
(1) 医業収益	1,436,077			
入院収益	748,904			
外来収益	646,186			
診療収入計	1,395,090			
その他医業収益	40,987			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	189,780			
(うち国・都道府県補助金)	1,184			
(うち他会計補助・負担金)	147,349			
(うち長期前受金戻入)	33,595			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,684,050			
2 経常費用	1,684,050			
(1) 医業費用	1,618,379			
職員給与費	927,499	64.6	55.7	72.6
材料費	199,190	13.9	24.7	15.8
(うち薬品費)	118,661	8.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	79,612	5.5	11.0	5.6
減価償却費	114,604	8.0	9.0	11.1
経費	370,747	25.8	23.3	31.9
(うち委託料)	176,509	12.3	11.5	13.0
研究研修費	1,939			
資産減耗費	4,400			
(2) 医業外費用	65,671			
(うち支払利息)	19,406	1.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-58,193			
純損益	-58,193			
累積欠損金	2,476,388			
経常収支比率	96.5		97.7	97.4
医業収支比率	88.7		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	9.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	87.8		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,001,875
1 固定資産	1,673,166
(1) 有形固定資産	1,672,531
(2) 無形固定資産	635
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	328,709
(1) 現金及び預金	90,850
(2) 未収金及び未収収益	232,363
(3) 貸倒引当金()	30,569
(4) 貯蔵品	32,575
3 繰延資産	-
負債合計	2,359,488
1 固定負債	1,507,582
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	709,939
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	100,000
(6) 引当金	697,643
(7) リース債務	-
2 流動負債	348,400
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	99,191
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	86,000
(5) 引当金	85,686
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	57,575
(9) 前受金及び前受収益	599
3 繰延収益	503,506
(1) 長期前受金	1,195,012
(2) 長期前受金収益化累計額()	691,506
資本合計	-357,613
1 資本金	2,115,167
2 剰余金	-2,472,780
(1) 資本剰余金	3,608
(2) 利益剰余金	-2,476,388
負債・資本合計	2,001,875
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	357,613
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	133,296	147,349
資本勘定繰入	64,314	151,784
計	197,610	299,133

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	172.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	高知県
				市町村・組合名	本山町
				病院名	嶺北中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,235 m ²	指定病院の状況	救臨へ		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	55	72.3	75.8	73.8
療養	44	78.1	82.0	80.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	74.9	78.5	76.8
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	18.7	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	3,573	
決算規模(千円)	4,950,833	
標準財政規模(千円)	2,216,427	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	16.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,562,223			
1 経常収益	1,546,977			
(1) 医業収益	1,164,878			
入院収益	631,929			
外来収益	415,843			
診療収入計	1,047,772			
その他医業収益	117,106			
(うち他会計負担金)	39,205			
(2) 医業外収益	382,099			
(うち国・都道府県補助金)	672			
(うち他会計補助・負担金)	243,562			
(うち長期前受金戻入)	83,781			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,246			
(うち他会計繰入金)	15,246			
総費用	1,571,752			
2 経常費用	1,571,752			
(1) 医業費用	1,459,925			
職員給与費	859,678	73.8	55.7	72.6
材料費	131,918	11.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	84,168	7.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	40,509	3.5	11.0	5.6
減価償却費	123,747	10.6	9.0	11.1
経費	334,122	28.7	23.3	31.9
(うち委託料)	125,931	10.8	11.5	13.0
研究研修費	10,460			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	111,827			
(うち支払利息)	33,395	2.9	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-24,775			
純損益	-9,529			
累積欠損金	60,193			
経常収支比率	98.4		97.7	97.4
医業収支比率	79.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	18.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	24.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	19.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	80.4		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,454,542
1 固定資産	3,064,513
(1) 有形固定資産	3,051,389
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	13,124
2 流動資産	390,029
(1) 現金及び預金	86,546
(2) 未収金及び未収収益	291,101
(3) 貸倒引当金()	2,360
(4) 貯蔵品	14,742
3 繰延資産	-
負債合計	2,885,565
1 固定負債	1,747,069
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,695,399
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	51,670
(7) リース債務	-
2 流動負債	335,421
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	183,593
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	49,807
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	50,000
(8) 未払金及び未払費用	46,471
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	803,075
(1) 長期前受金	1,370,265
(2) 長期前受金収益化累計額()	567,190
資本合計	568,977
1 資本金	629,170
2 剰余金	-60,193
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-60,193
負債・資本合計	3,454,542
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.1
修正医業収益(千円)	1,125,673

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	282,767	298,013
資本勘定繰入	117,160	117,160
計	399,927	415,173

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	高知県
				市町村・組合名	いの町
				病院名	いの町立国民健康保険仁淀病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,101 m ²	指定病院の状況	救	災	
診療科数	14	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	75.6	84.8	82.1
療養	40	90.4	89.2	88.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	81.5	86.5	84.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	21.1	21.5

設立団体の状況		
人口(人)	22,767	
決算規模(千円)	15,542,075	
標準財政規模(千円)	7,199,334	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,862,773			
1 経常収益	1,862,773			
(1) 医業収益	1,125,175			
入院収益	703,848			
外来収益	306,378			
診療収入計	1,010,226			
その他医業収益	114,949			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	737,598			
(うち国・都道府県補助金)	1,345			
(うち他会計補助・負担金)	162,603			
(うち長期前受金戻入)	62,331			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,978,923			
2 経常費用	1,978,923			
(1) 医業費用	1,430,527			
職員給与費	741,720	65.9	55.7	61.3
材料費	136,290	12.1	24.7	17.6
(うち薬品費)	57,761	5.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	75,277	6.7	11.0	8.2
減価償却費	112,572	10.0	9.0	10.2
経費	438,102	38.9	23.3	30.5
(うち委託料)	163,167	14.5	11.5	13.0
研究研修費	1,617			
資産減耗費	226			
(2) 医業外費用	548,396			
(うち支払利息)	24,739	2.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-116,150			
純損益	-116,150			
累積欠損金	1,475,234			
経常収支比率	94.1		97.7	96.5
医業収支比率	78.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	18.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	83.6		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,474,326
1 固定資産	2,734,027
(1) 有形固定資産	2,660,154
(2) 無形固定資産	748
(3) 投資その他の資産	73,125
2 流動資産	740,299
(1) 現金及び預金	220,781
(2) 未収金及び未収収益	497,301
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	22,217
3 繰延資産	-
負債合計	2,243,283
1 固定負債	1,461,051
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,289,443
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	171,608
(7) リース債務	-
2 流動負債	238,000
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	85,196
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	84,481
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	63,752
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	544,232
(1) 長期前受金	979,555
(2) 長期前受金収益化累計額()	435,323
資本合計	1,231,043
1 資本金	2,625,859
2 剰余金	-1,394,816
(1) 資本剰余金	45,318
(2) 利益剰余金	-1,440,134
負債・資本合計	3,474,326
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.4
修正医業収益(千円)	1,078,699

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	207,734	209,079
資本勘定繰入	54,011	54,011
計	261,745	263,090

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	131.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	高知県
	市町村・組合名	佐川町
	病院名	高北国保病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	10,215 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	56	87.3	91.7	91.9
療養	42	88.7	91.0	93.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	87.9	91.4	92.8
平均在院日数(一般病床のみ)		22.9	22.1	20.7

設立団体の状況		
人口(人)	13,114	
決算規模(千円)	6,825,877	
標準財政規模(千円)	3,901,790	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	92.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,754,620			
1 経常収益	1,753,853			
(1) 医業収益	1,347,854			
入院収益	803,459			
外来収益	460,716			
診療収入計	1,264,175			
その他医業収益	83,679			
(うち他会計負担金)	42,700			
(2) 医業外収益	405,999			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	145,337			
(うち長期前受金戻入)	90,806			
(うち資本費繰入収益)	11,010			
(3) 特別利益	767			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,732,181			
2 経常費用	1,731,454			
(1) 医業費用	1,529,149			
職員給与費	879,401	65.2	55.7	72.6
材料費	185,473	13.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	96,347	7.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	68,839	5.1	11.0	5.6
減価償却費	153,366	11.4	9.0	11.1
経費	279,080	20.7	23.3	31.9
(うち委託料)	115,455	8.6	11.5	13.0
研究研修費	2,908			
資産減耗費	28,921			
(2) 医業外費用	202,305			
(うち支払利息)	32,316	2.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	727			
損益				
経常損益	22,399			
純損益	22,439			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.3		97.7	97.4
医業収支比率	88.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	10.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	14.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	10.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	90.4		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,305,919
1 固定資産	2,350,814
(1) 有形固定資産	2,276,491
(2) 無形固定資産	1,064
(3) 投資その他の資産	73,259
2 流動資産	955,105
(1) 現金及び預金	720,515
(2) 未収金及び未収収益	224,936
(3) 貸倒引当金()	404
(4) 貯蔵品	9,058
3 繰延資産	-
負債合計	2,178,908
1 固定負債	1,597,604
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,582,835
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	9,481
(7) リース債務	5,288
2 流動負債	312,163
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	167,651
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	67,565
(6) リース債務	2,644
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	69,359
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	269,141
(1) 長期前受金	801,138
(2) 長期前受金収益化累計額()	531,997
資本合計	1,127,011
1 資本金	731,608
2 剰余金	395,403
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	395,403
負債・資本合計	3,305,919
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.4
修正医業収益(千円)	1,305,154

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	187,931	188,037
資本勘定繰入	76,455	79,205
計	264,386	267,242

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	高知県
		市町村・組合名	梶原町
		病院名	国保梶原病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,884 m ²	指定病院の状況	救臨へ輪
診療科数	4	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	30	62.1	57.9	73.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	62.1	57.9	73.2
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	15.4	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	3,608	
決算規模(千円)	6,820,147	
標準財政規模(千円)	2,816,101	
財政力指数	0.13	
経常収支比率(%)	87.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	489,028			
1 経常収益	489,028			
(1) 医業収益	404,074			
入院収益	154,029			
外来収益	171,618			
診療収入計	325,647			
その他医業収益	78,427			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	84,954			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	74,136			
(うち長期前受金戻入)	5,054			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	572,915			
2 経常費用	572,915			
(1) 医業費用	551,390			
職員給与費	367,683	91.0	55.7	80.8
材料費	46,659	11.5	24.7	13.8
(うち薬品費)	25,927	6.4	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	16,760	4.1	11.0	4.9
減価償却費	28,969	7.2	9.0	12.9
経費	107,361	26.6	23.3	47.4
(うち委託料)	52,363	13.0	11.5	20.7
研究研修費	643			
資産減耗費	75			
(2) 医業外費用	21,525			
(うち支払利息)	9,323	2.3	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-83,887			
純損益	-83,887			
累積欠損金	167,697			
経常収支比率	85.4		97.7	96.7
医業収支比率	73.3		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	22.6		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	27.3		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	22.6		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	66.1		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,010,406
1 固定資産	586,725
(1) 有形固定資産	586,579
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	423,681
(1) 現金及び預金	371,181
(2) 未収金及び未収収益	49,141
(3) 貸倒引当金()	666
(4) 貯蔵品	4,025
3 繰延資産	-
負債合計	379,048
1 固定負債	222,504
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	222,504
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	92,583
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	53,856
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,199
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	17,466
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	63,961
(1) 長期前受金	188,155
(2) 長期前受金収益化累計額()	124,194
資本合計	631,358
1 資本金	594,055
2 剰余金	37,303
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	37,303
負債・資本合計	1,010,406
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.7
修正医業収益(千円)	367,780

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	109,344	110,430
資本勘定繰入	30,413	30,413
計	139,757	140,843

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	41.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	高知県
				市町村・組合名	大月町
				病院名	国保大月病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,103 m ²	指定病院の状況	救 へ		
診療科数	2	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	25	63.0	74.8	69.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	63.0	74.8	69.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	18.6	19.9

設立団体の状況		
人口(人)	5,095	
決算規模(千円)	5,765,106	
標準財政規模(千円)	2,660,055	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	95.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	55.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.4
修正医業収益(千円)	374,114

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	518,980			
1 経常収益	518,980			
(1) 医業収益	430,563			
入院収益	150,288			
外来収益	203,778			
診療収入計	354,066			
その他医業収益	76,497			
(うち他会計負担金)	56,449			
(2) 医業外収益	88,417			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	51,723			
(うち長期前受金戻入)	16,834			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	486,920			
2 経常費用	486,920			
(1) 医業費用	476,946			
職員給与費	322,361	74.9	55.7	80.8
材料費	43,369	10.1	24.7	13.8
(うち薬品費)	20,448	4.7	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,361	4.0	11.0	4.9
減価償却費	30,631	7.1	9.0	12.9
経費	78,450	18.2	23.3	47.4
(うち委託料)	40,778	9.5	11.5	20.7
研究研修費	1,245			
資産減耗費	890			
(2) 医業外費用	9,974			
(うち支払利息)	930	0.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	32,060			
純損益	32,060			
累積欠損金	195,371			
経常収支比率	106.6		97.7	96.7
医業収支比率	90.3		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	20.8		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	25.1		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	20.8		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	84.4		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	609,051
1 固定資産	303,117
(1) 有形固定資産	303,117
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	305,934
(1) 現金及び預金	212,350
(2) 未収金及び未収収益	89,054
(3) 貸倒引当金()	88,764
(4) 貯蔵品	4,820
3 繰延資産	-
負債合計	182,897
1 固定負債	61,271
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	61,271
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	46,793
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,791
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	16,002
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	74,833
(1) 長期前受金	155,862
(2) 長期前受金収益化累計額()	81,029
資本合計	426,154
1 資本金	621,525
2 剰余金	-195,371
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-195,371
負債・資本合計	609,051
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	108,226	108,172
資本勘定繰入	6,710	10,828
計	114,936	119,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	高知県
				市町村・組合名	高知県・高知市病院企業団
				病院名	高知医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	75,965 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
診療科数	40	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	548	80.0	75.3	80.4
療養	-	-	-	-
結核	20	4.3	5.2	5.4
精神	44	30.5	30.0	11.2
感染症	8	0.8	-	-
計	620	73.0	69.3	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.0	8.2

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.8
修正医業収益(千円)	18,530,923

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,095,929			
1 経常収益	22,995,530			
(1) 医業収益	18,946,763			
入院収益	13,686,041			
外来収益	4,190,646			
診療収入計	17,876,687			
その他医業収益	1,070,076			
(うち他会計負担金)	415,840			
(2) 医業外収益	4,048,767			
(うち国・都道府県補助金)	406,303			
(うち他会計補助・負担金)	1,982,606			
(うち長期前受金戻入)	1,412,191			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	100,399			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,937,298			
2 経常費用	23,830,640			
(1) 医業費用	22,378,082			
職員給与費	10,178,708	53.7	55.7	49.1
材料費	5,811,740	30.7	24.7	29.1
(うち薬品費)	3,034,931	16.0	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,776,809	14.7	11.0	12.7
減価償却費	2,419,403	12.8	9.0	8.4
経費	3,867,790	20.4	23.3	20.7
(うち委託料)	2,607,510	13.8	11.5	11.6
研究研修費	52,815			
資産減耗費	47,626			
(2) 医業外費用	1,452,558			
(うち支払利息)	387,083	2.0	1.4	1.2
(3) 特別損失	106,658			
損益				
経常損益	-835,110			
純損益	-841,369			
累積欠損金	10,988,748			
経常収支比率	96.5		97.7	98.8
医業収支比率	84.7		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	10.4		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	86.4		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	37,041,627
1 固定資産	27,290,618
(1) 有形固定資産	25,467,337
(2) 無形固定資産	1,453,939
(3) 投資その他の資産	369,342
2 流動資産	9,751,009
(1) 現金及び預金	4,032,852
(2) 未収金及び未収収益	4,462,931
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	80,789
3 繰延資産	-
負債合計	33,723,871
1 固定負債	26,139,375
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,606,147
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,533,228
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,845,756
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,347,716
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	599,771
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,807,142
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,738,740
(1) 長期前受金	10,307,963
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,569,223
資本合計	3,317,756
1 資本金	13,385,958
2 剰余金	-10,068,202
(1) 資本剰余金	920,546
(2) 利益剰余金	-10,988,748
負債・資本合計	37,041,627
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,385,702	2,398,446
資本勘定繰入	1,540,320	1,552,270
計	3,926,022	3,950,716

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	58.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。